

医行為分類の検討の進め方(案)

1. 資料3に示した「医行為分類検討シート(案)」のうち、総合評価の各段階(A～E)より1行為を例にとり、分類方法の妥当性や、分類に際して留意すべき点等について検討

※「医行為分類検討シート」は、検討するためのたたき台として作成したものであり、ここで示す総合評価についても、今後の議論の中で検討を行うこととしており、現時点で決定されていない。

<検討する医行為の例>

- 120 局所麻酔(硬膜外・脊髄くも膜下) . . . 総合評価(案) A
 79 動脈ラインの確保 総合評価(案) B 1
 133 脱水の判断と補正(点滴) 総合評価(案) B 2
 103 導尿・留置カテーテルの挿入の実施 . . . 総合評価(案) C
 87 胸腔穿刺 総合評価(案) D (またはA)
 196 患者・家族・医療従事者教育 総合評価(案) E

<検討事項>

- 医行為分類検討シート(案)の各項目の妥当性
 (行為の概要、行為を実施する上での標準的な場面、評価項目)
 医行為の評価・分類に際して留意すべき点

2. 資料3に示した残りの「医行為分類検討シート(案)」について、上記1の検討を踏まえ、分類に際してさらに留意すべき点等について、概ね10項目ずつ検討

1 グループ : 1/2/3/4/5/8/15/16/17/18/19/28

2 グループ : 56/60/61/62/63/64/66

3 グループ : 67/69/70/71/72/73/75/76/78/79/82/85/87/103

4 グループ : 112/114/115/116/120/126/127

5 グループ : 131/132/133/134/135/136/137/178/186/196

1 グループ : 検査

2 グループ : 呼吸器

3 グループ : 処置・創傷処置

4 グループ : 日常生活関係/手術

5 グループ : 緊急時対応/薬剤の選択・使用/その他